八王子市障害者自立支援協議会　権利擁護推進部会　令和６年度上半期報告

１．権利擁護推進部会定例会

月に1回、市役所第6委員会室にて対面で開催。主に部会の活動内容の検討、計画、また権利擁護に関する情報共有、意見交換を行っている。後半では2グループ（「条例の普及啓発」と「障害者サポーター養成講座」）に別れて、それぞれの進め方などを検討している。なお、権利擁護推進部会では、部会員の障害特性などを考慮し、適切な部会運営を行うため、別紙のような内容を部会全体で確認している。（※別紙１）開催日：４/10、5/29、6/26、7/24、8/28、9/11、10/2、11/13（予定）

２．障害者サポーター養成講座

令和6年5月31日（金）、市役所にて八王子市民を対象とし、障害理解を深め、障害の社会モデルや合理的配慮について学んでもらう講座を開催した。この講座では、権利擁護推進部会員がファシリテーターを担い、障害当事者委員と共にグループに入り、事例に取り組みことで、障害者にどう接するべきか、どのような配慮が適切なのか、対話をしながら考える機会となった。参加者は16名で民生委員や福祉従事者の3名の他、市議会議員や一般企業、主婦の方など様々な方が参加された。参加者の終了後の安形とからは、「具体的な事例を直接話し合うグループワークが良かった。障害当事者の意見が伺えて支援する心構えを学べた。自分自身の考え方の見直しができた」といったコメントがあった。当初の計画では8/30にも講座を開催する予定であったが、悪天候のため中止となった。

３．障害者虐待防止研修

令和6年8月19日（月）、市役所にて八王子市内の障害福祉サービス事業所向けに、虐待防止研修を実施した。当日は市内のグループホームや生活介護、就労継続支援事業所などから65名の参加があり、まずは福祉課から八王子市の障害者虐待の実態について報告があった。その後、10グループに分かれてグループホームにおける虐待事例を基にグループワークに取り組んだ。今回は地域継続支援部会員にもファシリテーターに協力して頂き行った。研修後、参加者からは「日常業務の中で慣習として振り返りもしないで行っていることが、虐待につながっていくことを改めて認識した」、「八王子市の現状データ等の説明で、概要を捉えてからのワークだったので、真剣味が増した」、「机上の論理でなく、実際の現場で知識を使ってこそ、と実感しながら研修を受けることができた」と言った感想があった。なお、当初は8月16日（金）にも開催予定であったが、悪天候のため中止となった。

４．八王子市障害者差別禁止条例のいちょう祭りでの周知イベント（未実施）

令和6年11月16（土）、17日（日）のいちょう祭りの会場である陵南公園にて、点字体験、手話教室、障害理解に関するクイズ、デイジー（アクセシブルな情報システム）図書の紹介、そして障害者団体によるステージ発表を通じて、差別禁止条例の周知活動を行う。今年のステージ発表は障害のある子どもとそのきょうだいを対象としたダンスチームが出演する。